

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 3 月 2 日 (2006.3.2)

【公表番号】特表 2002-501967 (P2002-501967A)

【公表日】平成 14 年 1 月 22 日 (2002.1.22)

【出願番号】特願 2000-529392 (P2000-529392)

【国際特許分類】

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

B 3 2 B 7/06 (2006.01)

C 0 9 J 201/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 7/02 Z

B 3 2 B 7/06

C 0 9 J 201/00

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 1 月 10 日 (2006.1.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 接着テープアセンブリであって、
熱活性化接着剤の H A A 層を具備する前接着剤面と、
感圧接着剤の P S A 層を具備する後接着剤面と、
を具備する両面接着テープと、

該 P S A 層に接触しこれに結合しこれからたやすく取り外すことができる剥離層を具備する前ライナー面と、

該接着テープアセンブリがロールに形成されるときに該 H A A 層に接触するロール安定層を具備し、該ロール安定層はエチレン酢酸ビニルを具備する後ライナー面と、

を具備する剥離ライナーと、

を具備し、

該ロール安定層は、幅の狭いロールに形成されるときに該接着テープアセンブリに対してロール安定性を実質的に上昇させるように作用的に適合される接着テープアセンブリ。

【請求項 2】 接着テープアセンブリであって、
ポリオレフィン熱活性化接着剤の H A A 層を具備する前接着剤面と、
感圧接着剤の P S A 層を具備する後接着剤面と、
を具備する両面接着テープと、

該 P S A 層に接触しこれに結合しこれからたやすく取り外すことができる剥離層を具備する前ライナー面と、

該接着テープアセンブリがロールに形成されるときに該 H A A 層に接触するロール安定層を具備し、該ロール安定層は、該 H A A 層に対して測定したときに、幅の狭いロールに形成されるときに該接着テープアセンブリに対してロール安定性を実質的に上昇させる摩擦係数を有する接触表面を有する後ライナー面と、

を具備する剥離ライナーと、

を具備する接着テープアセンブリ。

【請求項 3】 熱活性化接着剤層を具備する前接着剤面と感圧接着剤層を具備する後接着剤面とを有する両面接着テープ用の剥離ライナーであって、

該感圧接着剤層に結合可能でありこれからたやすく取り外すことができる露出接触表面を有する剥離層を具備する前ライナー面と、

エチレン酢酸ビニルを具備するロール安定層を具備する後ライナー面と、
を具備し、

該ロール安定層は、該両面接着テープの該感圧接着剤層に該剥離層を剥離可能に結合し、次いで結果として得られた接着テープアセンブリをロールに巻くことによって形成された接着テープアセンブリの幅の狭いロールに対してロール安定性を実質的に上昇させるように作用的に適合される剥離ライナー。